



～洪水に備え、危険箇所の合同点検～ 水防河川巡視を行いました

富山河川国道事務所では、6月12日（水）に常願寺川と神通川、6月13日（木）に庄川と小矢部川の水防河川巡視を行いました。

水防河川巡視は、富山河川国道事務所水防連絡会主催のもと、関係水防機関や電力・鉄道会社、災害協定業者、地元住民の方々と合同で、洪水時に危険となる箇所の確認や緊急資材倉庫の資材の備蓄状況の確認を行い、水防活動に万全を期すことを目的として行っています。

当日は、2日間で延べ約200人に参加いただき、重要水防箇所や緊急資材倉庫の状況など4河川で計25箇所の巡視を実施しました。また、巡視終了後には意見交換会を通じて情報共有を図りました。

北陸地方では、すでに梅雨入りしていますが、富山河川国道事務所では、水防体制を整え、これからの洪水期に備えています。



6/1 2AM 常願寺川 45名参加
(写真は富山市朝日地先)



6/1 2PM 神通川 44名参加
(写真は富山市青島地先)



6/1 3AM 庄川 54名参加
(写真は高岡市戸出徳一地先)



6/1 3PM 小矢部川 50名参加
(写真は高岡市荒屋敷地先 第1号緊急資材倉庫)